



西鉄組合新聞

九州地連「第73回定期大会」報告

■開催日:8月22日(火)・23日(水) ■場所:阿蘇プラザホテル



8月22日(火)・23日(水)、阿蘇プラザホテルにて、「九州地連第73回定期大会」が開催され、2017年度運動方針「もりやたかし」が決議された。大会には、九州各地の私鉄の仲間約170名が集結し、西鉄労組からは31名が参加。議事では、執行部と代議員との間で真摯な議論が交わされ、特に、「2017年度運動方針決定に関する件」では多くの代議員から質問が出されるなど、活動的な議論のもと原案どおり満場一致で決定された。また、大会教育展も同時開催され、各労組から寄せられたポスターや写真が展示された。西鉄労組漫画サークルが作成したポスターも、多くの参加者の目をひいていた。



問題の改革・改善なくして、未来はない
地連大会に参加して

自動車事業分会
馬男木 洋一

問題の改革・改善なくして、未来はない



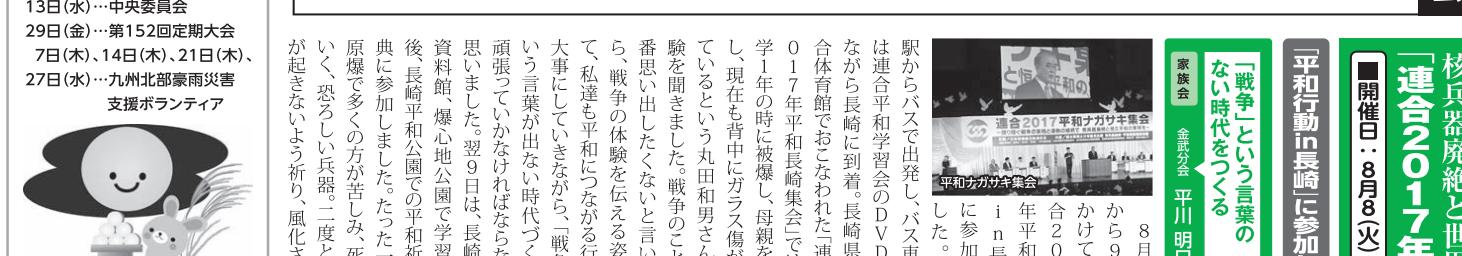
2017年度運動方針の議論で、他労組の活発な意見を聞いて、賃金などの労働条件について地域差を感じるとともに、改善基準すら遵守することができない、要員不足の問題、労働時間の問題など、どこも同じような問題を抱えていることが分かった。しかし、現状の様々な問題を改革、改善していくかなど、未だ見えないので、組合員全員で、結成70年次世代に「つなぐ私鉄産別運動」というスローガンのもと、団結勝利をめざしていくことが絶対必要だと思った。



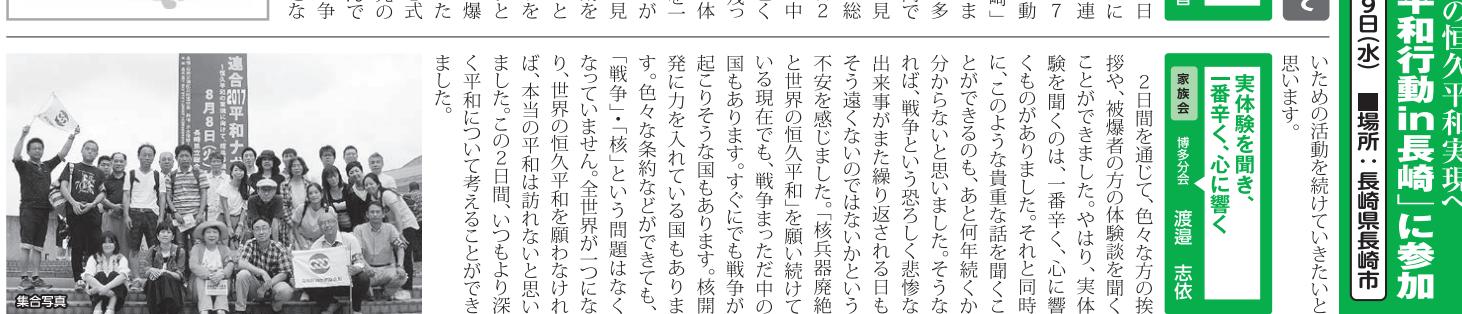
必ずや「もりやたかし」
氏を国政の場に
タービルにて、第10回中央委員会を開催した。今回は、古賀執行部が発足してから初めての中央委員会。冒頭の挨拶で、古賀孝治執行委員長は、「組合員の生活と雇用の確保を第一に、自分の色を出しながら、組織構築するためにも、地域公共交通が抱える課題に精通して、運動を進めていきたい」などと、決意を述べた。その後、議事に入り、「マスター社員制度の改定」、定期大会に於ける「2017年度運動方針（案）予算（案）など、全ての議案が満場一致で決定された。※詳細は、かへ新聞第10号（参考照：分会掲示板、インストラネット西鉄労組ページ）に掲載）



今回の九州地連定期大会が、初めての上部団体会議への参加だった。まだ、震災からの復興途中にあつた阿蘇の地で、結成70年を迎えた地連の大会に参加し、他労組の組合員の皆さんのお話、他労組の活発な意見を聞くことができた。西鉄労組ペーパーでは、中高生たちが「平和と理解の連合2017年平和ナガサキ集会in長崎」に参加しました。博多駅からバスで出発し、バス車内では連合平和学習会のDVDを見ながら長崎に到着。長崎県立総合体育館でおこなわれた「連合2017年平和長崎集会」では、中学生1年の時に被爆し、母親を亡くし、現在も背中にガラス傷が残っている丸田和男さんの体験を聞きました。戦争のことを一番思い出したくないと言ひながら、戦争の体験を伝える姿を見て、私は平和につながる行動を大事にしていきながら、「戦争」という言葉が出ていた。たった一発の原爆で多くの方が苦しみ、死んでいく、恐ろしい兵器。二度と戦争が起きないように祈り、風化させないために、自分たちにできることを実践していくことが大切だと思った。



「戦争」という言葉のない時代をつくる
平和行動in長崎に参加して



2日間を通じて、色々な方の挨拶や、被爆者の方の体験談を聞くことができました。やはり、実体験を聞くのは、一番辛く、心に響くものがありました。それと同時に、このような貴重な話を聞くことができるのも、あと何年続くか分からないと思いました。そうすれば、戦争という恐ろしく悲惨な出来事がまた繰り返される日も起きるかもしれません。全世界がつながり、世界の恒久平和を願わなければ、本当の平和は訪れないと思います。この2日間いつもより深く平和について考えることができました。

2017年度運動方針「もりやたかし」 必勝特別決議などを決定

結成70周年、教育・宣伝活動を積極的に

マスター社員制度の改定 審議決定

8月24日(木)、博多港センタービルにて、第10回中央委員会を開催した。今回は、古賀執行部が発足してから初めての中央委員会。冒頭の挨拶で、古賀孝治執行委員長は、「組合員の生活と雇用の確保を第一に、自分の色を出しながら、組織構築するためにも、地域公共交通が抱える課題に精通して、運動を進めていきたい」などと、決意を述べた。その後、議事に入り、「マスター社員制度の改定」、定期大会に於ける「2017年度運動方針（案）予算（案）など、全ての議案が満場一致で決定された。

第10回中央委員会 「連合2017年平和行動in長崎」に参加して

開催日：8月8日(火)～9日(水)
場所：長崎県長崎市
いための活動を続けていきたいと思います。

実体験を聞き、一番辛く、心に響く家族会
博多分会 渡邉 志依

核兵器廃絶と世界の恒久平和実現へ 「連合2017年平和行動in長崎」に参加

